

## うきしろの教育プロジェクトの推進 ～「温故知新」の学びの中で～



○教委名 行田市教育委員会  
 ○所在地 行田市本丸2番20号  
 ○TEL 048-556-8316  
 ○E-mail [gakko-k@city.gyoda.lg.jp](mailto:gakko-k@city.gyoda.lg.jp)  
 ○URL <http://www.city.gyoda.lg.jp/>

### 1 研究主題

- (1) 「うきしろの教育プロジェクトの推進」～「温故知新」の学びの中で～  
 (2) 主題設定の理由

学習の根幹をなす「基礎学力の定着や学習規律・習慣の再確認」は極めて重要であり、それらは、いわゆる「温故」の領域だと考える。一方、これからの時代において「社会的に自立し、たくましく生き抜いていく力」を育む教育は当然必要であり、それは「知新」の領域だと考える。

行田市では、この両輪がバランスよく調和した「温故知新」の教育を目指し『うきしろの教育プロジェクト』の推進に向けて、きめ細やかな指導の実践に努めている。

具体的には、以下の方策をとおして、本市における学力向上に係るPDCAサイクルを着実に実施し、行田市教育委員会学力向上プランをもとに市全体の取組を推進している。

### 2 研究の実践

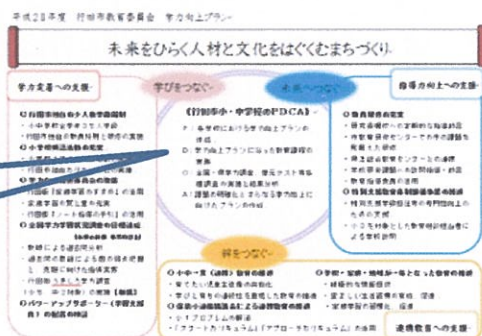
- (1) 行田市教育委員会学力向上プランの策定

行田市の学力向上を目指したPDCAサイクルの着実な実施に向けて、学力向上プランに沿った取組と検証を進めている。

**【行田市小・中学校のPDCA】**

**P**：各学校における学力向上プランの作成  
**D**：学力向上プランに沿った教育課程の実践  
**C**：全国・県学力・学習状況調査、単元テスト等各種調査の実施と結果分析  
**A**：課題の明確化とさらなる学力向上に向けたプランの作成

【行田市教育委員会学力向上プラン】



- (2) 学力向上推進委員会の取組

ア 各学校における「学力向上」に係る取組プランの共有化

- ① 各学校における全国及び県学力・学習状況調査の成果と課題の分析をもとにした改善策・取組プランを学力向上推進委員会で協議し、共有化を図っている。
- ② 全国及び県学力・学習状況調査に係る重点課題の設定と過去問題への取組の強化（授業で取り扱う等）を進めている。

イ 行田版「板書・ノート指導の手引き」の見直しと活用

教職に就いて間もない教職員が増えているため、授業中でのノートのとり方、家庭学習におけるノートの使い方等をまとめた「手引き」を作

成し、その活用と取組への改善を図っている。

ウ 行田版「家庭学習のすすめ」の見直しと活用  
各学年用に作成した行田版「家庭学習のすすめ」をもとにした家庭学習のさらなる充実を目指し、学力向上推進委員会において講師を招聘し、指導いただいたことをもとにして協議を進め、取組の改善を図っている。

【学力向上推進委員会に講師を招聘】



(2) パワーアップサポーター（学習支援員）の配置

学習内容が難しくなる小学校中学年の算数科の指導強化のため、経験豊かなベテラン教師を配置し、個別指導の充実を図り、子供たちの学習意欲の向上を目指している。また、パワーアップサポーター意見交換会を実施し、実施状況の把握と改善を図っている。

(4) 行田版うきしろ学力調査の実施

小5・中2を対象として、これまで実施した全国学力・学習状況調査において課題が見られた設問を取り入れた学力調査を実施した。本市の重点課題に係る実態把握と児童・生徒への指導の充実を図っている。

(5) 行田市独自の少人数学級編制

平成16年度から少人数学級を実施しており、昨年度より小・中学校全学年35人学級編制に拡大し、きめ細かな指導の充実を図っている。

(6) 小学校英語活動の充実

平成17年度から行田市独自の「英語活動カリキュラム」を活用して、小学校1年生から英語活動を実施している。今年度は、次期学習指導要領改訂に向けたカリキュラムの見直しを図っている。

(7) 小中一貫（連携）教育の推進

育てたい児童・生徒像の共有化や学びと育ちの連続性を重視した教育の推進を図り、小・中学校教員における相互授業参観や中学校からの出前授業（教員や中学生）、中学校での授業・部活動体験等を計画的に実施している。

### 3 研究の成果と課題

(1) 成果

今年度、行田版「板書・ノート指導の手引き」を各学校で活用し始めたことで教師にとっては、児童がわかりやすい板書の仕方のヒントとなった。児童にとっては、ノートまとめのパターン化を定着させるガイド役となり基礎基本の定着につながっている。

また、市全体で過去問題に取り組んだことで、質問紙の回答からも回答時間が十分だったと答えた児童が全国平均よりも上回った。

(2) 課題

今年度より実施し始めた行田版「うきしろ学力調査」をもとに本市の学力重点課題に係る実態把握と児童・生徒への細部にわたる指導のさらなる充実を図りたい。また、これまでの事業をさらに推進できるよう、学力向上推進委員会の機能を生かしながら各学校の学力向上に係る諸課題に対して組織的機動的に解決していきたいと考える。